

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 387 号	氏名	井上 圭太
学位審査委員	主 査	前村 浩二	
	副 査	川上 純	
	副 査	篠原 一之	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、禁煙の代謝系や動脈硬化に及ぼす影響を、禁煙により副次的に発生する肥満の影響も考慮に入れて解析したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 禁煙の代謝系への影響を、インスリン抵抗性、アディポカインなどを指標に、また動脈硬化への影響を血管内皮機能検査、頸動脈内膜中膜複合体厚などで解析し、さらに体重増加の有無に分けてこれらの指標の変化を解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、禁煙治療により Body mass index (BMI) は有意に増加し、インスリン抵抗性は増加傾向にあった。またアディポネクチンは、禁煙治療終了直後に増加したものの、その後有意に減少した。体重増加の有無で分けて解析すると、体重が変化しなかった群では禁煙治療によりアディポネクチンの増加傾向を認めたが、体重が増加した群では、インスリン抵抗性の増大、アディポネクチンの低下が認められた。禁煙自体は動脈硬化の進展を予防する効果があると考えられるが、同時に発生することの多い体重増加は動脈硬化を進展する可能性が示された。禁煙治療の際に、体重増加への配慮が必須であることを明確に示した論文であり、今後禁煙治療を推進して行く上での重要な知見になると期待される。</p> <p>以上のように本論文は生活習慣病研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			